

新しい救急救命処置と実証研究

ニュースレター

平成 24 年度厚生労働科学研究費補助金 「救急救命士の処置範囲に係る研究」 研究班事務局 発行

登録状況

<新規>

10 月中旬×日
～10 月末×日

黒字は非介入件数

赤字は介入件数

低血糖 66 件, 18 件
重症喘息 7 件, 0 件
ショック 162 件, 20 件

合計 235 件, 38 件

<累計>

7 月 1 日
～10 月末×日低血糖 523 件, 37 件
重症喘息 53 件, 0 件
ショック 1,410 件,
39 件

合計 1,986 件, 76 件

※数値は一次集計値であり、修正される可能性があります。

新しい処置の実施に際しては、くれぐれも無理をせずに、傷病者の安全第一でのご対応をお願いします。

11 月からすべての選定地域で、新しい処置が開始されます。

これまで、6MC 協議会 18 消防本部で介入期間が開始されていますが、11 月 1 日より、いよいよすべての選定地域で介入期間が開始されます。

先行して開始された地域より、処置実施事案について具体的な報告が上がりがつあります。想定通り、傷病者の搬送先の選定に有用だった、意識状態の改善につながったなどのご報告が少しずつ届いているところです。

一方で、血糖測定のための穿刺が必ずしも一度ではうまくいかない事案、傷病者の体動により静脈路の維持ができなかった事案、ブドウ投与に伴う血管炎の発生の疑いの事案などの報告をいただいています。

これまでのところ直ちに対応が必要なほどの有害事象が報告されていませんが、処置の実施に際しては、このような事例の発生の可能性があることをあらかじめご留意いただいたうえで、くれぐれも無理をせずに、傷病者の安全第一でのご対応をお願いします。

➤ 非介入・介入期間ともに、多数の登録ありがとうございます！

10 月中旬から末×までに、三処置合計で新たに、非介入期間で 235 件、介入期間で 38 件の登録がありました。(累計 非介入期 1986 件{低血糖 523 件、重症喘息 53 件、ショック 1410 件}、介入期 76 件{低血糖 37 件、重症喘息 0 件、ショック 39 件} 多くのご登録、ありがとうございました。(これまでの登録状況を踏まえて、各 MC 協議会の代表の皆さまには、「傷病者登録の状況と対応について」の文章を、10 月下旬に発出していますのでご確認をお願いします。)

介入期間が開始されていますが、多くの地域では 11 月から、介入期間が開始します。引きつづき、確実な傷病者登録を宜しくをお願いします。

<非介入期の登録状況>

- ・ 血糖測定と低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与
最多登録 MC 協議会 (神戸市、札幌市 MC 協議会) 各 8 件
- ・ 重症喘息に対する吸入 β 刺激薬の使用
最多登録 MC 協議会 (山梨県 MC 協議会) 3 件
- ・ 心肺機能停止前の静脈路確保と輸液
最多登録 MC 協議会 (札幌市 MC 協議会) 15 件

お願い

～正確な登録を～

登録件数の増加に伴って、登録データ項目の確認作業が大きくなっています。データの記入漏れ、不適切な記入について、各 MC 協議会での段階で御確認、修正いただきますようお願いいたします。

～ニュースレターの供覧を～

参加されている全ての救急救命士の方、教育・研修に携わった消防学校などの方に、このニュースレターをご供覧いただけるように、各 MC 協議会、各消防本部のご担当者様には、ご配慮いただきますようお願いいたします。

～地域の情報を待ってます～

本ニュースレターへのご意見、ご要望は、研究班事務局にお願いします。

参加 MC の皆様からの記事のご投稿もお待ちしております。

fujita_kyukyuka_hisyo@yahoo.co.jp

➤ 「意識の回復を目のあたりにし、充足感」相澤救命士

これまで報告を受けた中で、初めて救急の現場でブドウ糖投与を実施した仙台市消防本局の相澤救急救命士に、当時の状況などをお聞きしました。



相澤救急救命士
(仙台市消防局)

○経過

＜出動＞ 介入期間が始まり、まだ日も浅いある日、指令課の情報から低血糖発作の症例と推察される事案に出場しました。出場途上で、隊員2名に対し、処置拡大（血糖値測定・低血糖発作症例へのブドウ糖投与）を考慮に入れた救急活動を行う旨の指示を与えました。

＜現場対応＞ 傷病者に接触し、身体所見の観察等を開始するとともに、家族から状況及び既往歴を聴取しました。その結果、新しい処置の適応症例と判断するにいたりしました。家族からの同意については、有害事象の説明に際し多少不安視する表情が垣間見えましたが、処置優先の必要性を伝えたとく早く了承していただきました。

＜血糖の測定＞ 早速、プロトコルに従い処置の実施に移行しました。緊張しつつも、これまでの研修会、訓練等でイメージしていた活動の実践を心掛け、初めての経験に取りかかりました。

MC ドクターに現場の状況を報告し、処置の指示を得て血糖値を測定しました。モニターには 40mg/dl 代の値が示され、ブドウ糖投与に進むことになりました。（緊張感がさらに高まりました！）

＜静脈路確保とブドウ糖投与＞ 不穏による激しい体動はなく、落ち着いて右正肘皮静脈にて静脈路確保をしました。続けてブドウ糖の投与へ。隊員の協力も得て、手順どおりに投与を完遂しました。傷病者が回復傾向（JCS-30→JCS-2）を示す中で、医師に引き継ぐことができました。

○感想・皆様へのメッセージ

自分の手がけた処置により傷病者の方が目前で驚くように回復していく様を目のあたりにし、これまでの救急隊員としての経験とは別次元での充足感を、体全体で感じました。

本救急事案では、ほとんど体動を気にしなくて良かったために、比較的円滑に静脈路確保を行うことができました。一方で、この後の別事案では、不穏状態で体動が激しく静脈路確保が非常に困難でブドウ糖投与に至らない症例も経験しています。

当消防局では、実証研究に係る講習終了者に対し、手技のスキル維持を目的として対象処置のシミュレーション訓練（最低週1回）を義務づけているところですが、このような取り組みを重ねつつ、より多くの現場を経験していくことでいかなる現場状況下においても確実に静脈路確保ができるようにしていくことが大切ではないかと考えます。

新しい救急救命処置を、多くの傷病者が必要としているのですから。

（→次ページの MC 医師のメッセージもお読み下さい）

お知らせ

～ホームページの紹介～

情報提供、情報共有を目的に実証研究のHPを立ち上げています。ご関心のある方は、

<http://kyumeisi.com/>

を御確認ください。

HPの担当 ボランティアを 募集しています！

ホームページの内容を工夫、充実していただける、ボランティアの方を募集しています。今のHPより少しでも良くするスキルのある実証研究関係者の方、是非、ご協力願います！（ご関心のある方は、事務局にご連絡ください。）

➤ 「MC体制の充実が傷病者の予後にも良い結果をもたらす」

（野上 MC 医師）

直接指示を行った、仙台市立病院救命救急センターの野上慶彦医師からもコメントをいただきました。



野上慶彦医師

（仙台市立病院救命救急センター）

当日、私は、救命救急センターの処置室で救急救命士処置拡大の指示要請を受けました。糖尿病の既往と降血糖薬の服用を確認し、脳疾患等が否定的であったので、処置適応の条件に合致していると判断し、直ちに血糖値測定を指示しました。

そして、測定値が40mg/dl代の報告を受けブドウ糖投与の指示を行いました。予想通り数分後には意識が回復し、傷病者の予後にも多大な効果を発揮したものと思います。

救急救命士の新しい処置は、医師による指示・指導・助言体制や救急救命士への教育体制などメディカルコントロール（MC）が充実している地域で行われています。MC体制の充実が、傷病者の安全の確保、正確な疾病の鑑別、いち早い症状の改善、予後の改善に良い結果をもたらすことは疑う余地がありません。充実したMC体制の下で、全国に新しい救急救命士の処置が広がることに期待します。

➤ **地域発** ブラッシュアップ研修を実施しました！

（神奈川県 湘南地区MC）

湘南地区MC協議会（神奈川県）より、研修の状況について情報提供いただきました。各地域MC協議会での研修の際の参考にしてください。

当協議会では、7月に実証研究参加救急救命士のうち所定の教育研修での指導者を育成する研修（1日）を実施、8月には4日間の実施者研修会（所定の教育研修）を開催し、実証研究に対応しているところですが、当該教育研修から2ヶ月以上が経過したため、11月1日からの介入期間開始を控えた10月22日に3時間の「直前（ブラッシュアップ）研修」を実施しました。

当日は、当協議会に参画する消防本部（15消防本部）から1名以上の参加要請に対して、勤務の都合などにより28名（全体65名）の実証研究参加救急救命士が参加しました。

また、当該研修会は、東海大学医学部医師の助言を含めながら処置の実技をメインに、実際に処置を実施する救急救命士の不安などを解消することを目的に行い、参加救急救命士はそれぞれの所属の実証研究参加救急救命士等へ伝達することとしています。

お知らせ



HPの担当 ボランティアを 募集しています！

ホームページの内容を工夫、充実していただける、ボランティアの方を募集しています。今のHPより少しでも良くするスキルのある実証研究関係者の方、是非、ご協力願います！（ご関心のある方は、事務局にご連絡ください。）



神奈川県湘南地区MC協議会での直前（ブラッシュアップ）研修の様子
（伊勢原市消防署南分署内：伊勢原市コミュニティ防災センター）

全体の登録状況	非介入・介入	7月前半	7月後半	8月前半	8月後半	9月前半	9月後半	10月前半	10月後半
	低血糖	9	12	64	78	146	66	82・19	66・18
	重症喘息	1	2	6	9	12	12	4・0	7・0
	ショック	33	39	163	204	401	213	195・19	162・20
	合計	43	53	233	291	559	291	281・38	235・38
	非介入・介入	11月前半	11月後半	12月前半	12月後半	1月前半	1月後半	累計	
	低血糖	—	—	—	—	—	—	523・37	
	重症喘息	—	—	—	—	—	—	53・0	
	ショック	—	—	—	—	—	—	1410・39	
	合計	—	—	—	—	—	—	1986・76	

※締め日の都合上、月の前半後半の境日は必ずしも15/16日、末日/1日とはなっていません。